NPO法人
観濠クルーズ Sakai
第6号
発行：2009年3月
【NPO法人観濠クルーズSakai会報】

クルーズ乗船記

・・・・（前文略）・・・・

さて、今日、メールさせていただいたのは、十一月二十三日の日曜日に、遅ればせながら「のーんびりクルーズ」に行って来たことをご報告するためです。

今シーズンは、今月末の土日が最終ということで、急に思い立って行くことにしました。

予約が出来ると聞いていたので、当日の朝ではありましたが、電話で妻と二人分の予約をしたところ、「大丈夫ですよ」と快く受け付けてもらえました。私たちが予約したのは午後十二時三十分の二便目でした。堺駅前の乗船場までは、自宅から、ゆっくり歩いていきました。

出航時刻となり、いよいよクルーズの始まりです。出航して間もなく「小島屋」のけし餅が乗客全員に配られました。堺の銘菓をいただきながらのクルーズに、気分は上々です。

ガイドをしてくださった男の方は、お話がお上手で、ユーモアを交えての説明は、とても分かりやすいものでした。川で釣りをしている男の子に気軽に声をかける様子や、川が汚れていた時代のエピソードとして、月州中学校で行われたスポーツの対外試合に負けた学校が、「実力で負けたのでなく、この川の臭いに負けた」と言ったという話など、このガイドの方は、学校関係の方のように思いましたが、いかがでしょうか？

南蛮橋付近で釣れたスズキ 70cm

ガイドの冒頭で、「名所を案内すると言っても、実際にはあまり現存するものはないので、その分、私の話で補わせていただきます。」とおっしゃっていましたが、補うどころか、たっぷりと堺の環濠に関するお話を聞かせていただき、みんなとても満足していたと思います。